

税 労 第 62-093 号
令和 4 年 6 月 30 日

日本税関労働組合
中央執行委員長 倉 本 和 邦 殿

日本税関労働組合青年委員会
青年委員長 呉 屋 堯 歩

第 62 期第 6 回青年委員会議事録について（送付）

このことについて、議事録を作成したので、別紙 1 のとおり送付します。

第 62 期第 6 回青年委員会議事録

1 開催日時 令和 4 年 6 月 10 日 (金) 午前 10 時から午後 4 時

2 開催場所 午前：中央書記局 午後：会議するなら (WEB 併用)

3 出席者

[青年委員長]

呉屋堯歩

[副青年委員長]

小林佑太朗、関口法立

[書記長]

島中翔 (WEB)

[執行委員]

松本琉寿、近藤隆也、西原夕夏、古川遼、渡辺航

[中執 (青年担当)]

村岡和弥 (中央書記次長)

4 議 題

(1) 第 2 回考査管理室長会見について (打ち合わせ・総括) 【午前】

(2) 各地区本部活動経過報告 【午後】

(3) 青年委員会総会準備 【午後】

(4) 来期青年委員会メンバーについて 【午後】

(5) その他 【午後】

5 議事内容

(1) 第 2 回考査管理室長会見について (打ち合わせ・総括)

ア 交渉打合せ

- ・事前に交渉の流れ、各自が担当する発言事項について共有を行った。

イ 総括

- ・当局側の回答はこれまでどおりであり、目新しいものはなかった。
- ・緊張したので慣れていきたい。
- ・フリーストークで室長個人の意見を言ってくれたのでよかった。当局側は紳士的で聞きやすかったので、次からは聞いていきたい。

(2) 各地区本部活動経過報告

各地区本部からの「各地区本部情勢報告」の共有を行った。補足を含め、記載されている内容以外の発言は以下のとおり。

ア 函館

- ・6月末に新職（大卒）が全員新千歳に配属されるという情報を得たので、配属後、青年執行部と親で新千歳に行って加入懇懇を実施予定。

イ 東京

- ・令和4年の基礎科の加入懇懇を行い、39名中25名が加入した。
- ・令和4年の普通科が今週末に柏の研修が終了する。成田地区に配属される新職加入者26名に対し、食事会を実施する予定。
- ・ボーリング大会は8月に実施予定。

ウ 横浜

- ・6月14日に新職が配属されるので、その後、アンケートとJCU手帳を郵送し、配属先で配布してもらう予定。

エ 名古屋

- ・JCU手帳は、来週以降に配る予定。

オ 大阪

- ・来週、柏の研修が終わった大卒が本関での支所研修がある。サークル紹介の時に組合の説明をする予定。

カ 神戸

- ・6月のUSJレクは現在7名集まっている。予定通り来週行う。
- ・加入懇懇は検討中。

キ 門司

- ・来週火曜日の支所研修の昼休みに大卒の加入懇懇を実施する予定。

ク 長崎

- ・6月に青年層組合員を対象（非組含め）にボーリング大会を実施した。18名（うち2名は非組）が参加した。非組合員にも声掛けをして参加してもらったが、参加費は組合からは支給していない。また、加入懇懇もその場ではしていない。今後、加入に繋がればと考えている。
- ・来週、大卒の加入懇懇を実施する予定。アンケート、JCU手帳と長崎独自で作成したボールペンを配布する予定。

ケ 沖縄

- ・今月に大卒の加入懇懇を行う。コロナの関係で沖縄の委員長のみが行う。

(3) 青年委員会総会準備

ア 開催方法及び開催日時

- ・集合開催で進めていくこととした。
- ・親の定期大会の日時が決まり次第検討。後日、村岡書記次長からメールにて連絡。

イ 代表者数

- ・コロナ前の以下の定数とし、次回の中央執行員会で承認を得ることとした。

函館 2、東京 5、横浜 3、名古屋 3、大阪 2、神戸 3、門司 2、長崎 2、沖縄 2

計 24 名

(代表者の選出) ※規約抜粋

第 11 条 代表者の定数は、青年委員会が決定し、中央執行委員会の承認を得なければならない。

2 代表者は、地区本部青年部委員会が選出する。

ウ 総会スローガン

- ・7年前から変わっておらず、来期はコロナ禍から青年の活動を再開していこうという年になると思われるので、変更を検討することとした。次回の第7回青年委員会までに各自検討を行い、次回委員会で決定することとした。

エ 議長、総会宣言の担当

- ・過去の議長、総会宣言の担当記録も参考にしながら、以下のとおり決定した。

議 長：東京、長崎

総会宣言：大阪

オ 議案書

- ・議案書（活動経過報告、活動記録、活動方針案）については、村岡書記次長が案を作成し、青年委員会メンバーからメールで意見聴取することとした。

カ レセプション

- ・村岡書記次長より、レセプションの過去の経緯について説明があった。
- ・検討の結果、集会後にレセプションを行うこととした。
- ・内容は、コロナ前に行っていた「連想ゲーム」とした。
(理由) 過去盛り上がった。3年前と参加者は違うと思われる。内容的に接触がなく、ソーシャルディスタンスが保てる。

- ・具体的な内容は、次回の青年委員会で決定することとした。
- ・コロナ前はお酒の提供をしていたが、今回するかどうかは中央執行委員会で伺いを立てることとした。

(4) 来期青年委員会メンバーについて

現状、以下のとおり。まだ、来期のメンバーが全員で揃っていないことから、来期青年三役については、次回の第7回青年委員会で決定することとした。

函 館：交代（H29Ⅲ）

東 京：継続予定

横 浜：継続予定

名古屋：未定（継続の可能性あり）

大 阪：交代予定（人選未定）※第7回青年委員会までに人選するように依頼

神 戸：継続予定

門 司：継続予定

長 崎：交代予定（7月に本関異動する2名のどちらかで調整中）

沖 縄：継続予定

(5) その他

ア PSI-JC ユースネットワークセミナーの集合時間について

- ・集合時間が13時となっており、開催地も羽田空港から少し便が悪いことから、遠方組が間に合うかの確認を行った。結果、全員問題なしであった。

イ アンケートの集計方法のヒアリング

- ・アンケート集計の効率化の観点から紙集計の場合、以下のどちらがよいかヒアリングを行った。

（従来）集計表に手入力していく

（案）Google フォームに入力していく

- ・作業者の入力の手間としてはどちらもほぼ変わらないと思われるが、従来は地本事務室での作業となるが、案は携帯からできるため場所を選ばない。また、案であれば入力するだけで集計されるので集計作業がなくなる。
- ・過去、紙回収を行っている地区本部にヒアリングを行ったところ、どちらでもという感触であった。今後、紙回収が発生した都度個別に相談していくこととした。

ウ 移転料の対象外経費のヒアリング

- ・第1回考査管理室長会見の議題検討（第1回青年委員会）で移転料の対象外経費の話が出たときに、車以外にも生活必需品で対象外経費（洗濯機の設置やエアコン工事費など）となっているものもあることから、車の移送費のみを要求するのではなく、生活必需品については全額支給するように要求文を作成した。第2回考査管理室長会見でも同様の要求を行ったが、令和4年2月の改正で対象外経費が緩和されており、車

の移送費以外の生活必需品と言える費用については、基本的には支給可能となっている。車の移送費以外にないのであれば来期の議題の文言を修正する必要があることから村岡書記次長から車の移送費以外にあるかとの確認があった。青年委員会メンバー内でヒアリングしたところ、車以外はないのではとのことであったので、文言の書きぶりについては、来期検討することとした。

エ 来期の活動状況報告フォームの変更案について

- ・今期から始めた活動状況報告の統一フォームについて、約1年間の実証を基に変更案が村岡書記次長から提案され了承された。来期からは、変更案のフォームで行うこととする。

以上